

2025年2月28日

情報公開文書

「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析」へご協力いただいた皆様へ

表題の研究計画「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析」にご提供いただいた情報を、外部機関との共同研究へ提供することを計画しております。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

提供先の研究課題名

たんぱく質摂取量及び質と健康指標との関連解析

研究責任者

医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター 行動生理研究室
南里 妃名子

<共同研究機関>

株式会社明治 研究本部 ニュートリション開発研究ユニット
神田 淳
明治ホールディングス株式会社 ウェルネスサイエンスラボ 1G
朴 鐘旭

研究目的

本共同研究では、欧米と人種・食文化が異なる日本人においてもProtein Leverage仮説が成立するのか検証を行います。Protein Leverage仮説は、動物の食欲は主にたんぱく質によって決定される、すなわち、必要な量のたんぱく質を摂取するまで食事をするため、炭水化物や脂質過多な食事を摂っていると、エネルギー摂取過剰が引き起こされる、という説です。さらに、たんぱく質の摂取「量」だけでなく、その「質」の観点からも解析を進めることで、日本人の健康課題である肥満予防及び健康寿命延伸につながる新たな理論構築を目指すこととします。また、肥満は腸内細菌との関連があることが報告されていることから、Protein Leverage仮説を含め、たんぱく質の量および質と腸内細菌の関連についても明らかにします。

本研究は将来的に、たんぱく質をどのように摂取するかが我々の健康に関連しているのか、また腸内細菌はどのように関連するのかを理解することで、国民の生活の質を高めることおよび健康寿命延伸に繋がることが期待されます。

研究期間

研究実施予定期間 研究機関の長の許可日（2025年2月25日）～2027年3月31日

提供される情報と個人情報の扱い

「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析（受付番号：260）」で収集している情報を対象とします。例えば、年齢や性別などの基本情報、身長や体重などの身体情報や健康診断情報、アンケートなどによる食事や病歴などの情報、身体活動に関する情報、血液や便などの試料を分析して得られたデータなどを含みます。

その際提供する情報は匿名化して誰のものかわからなくして提供します。また、氏名、住所、連絡先などの個人情報提供は提供しません。

お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター 行動生理研究室
南里 妃名子
〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町3-17 健都イノベーションパークNKビル
電話：06-6384-1120